

報告

令和2年度 北海道医師会賞・北海道知事賞 受賞者業績紹介

本誌9月(第1224)号にてご報告いたしましたとおり、10月3日(土)午後3時より、当会館において、北海道医師会賞・北海道知事賞贈呈式が挙行されます。

ここに受賞された方々のご業績を紹介いたしますとともに、受賞者各位の一層のご活躍を祈念いたします。

—学術部—

令和2年度 北海道医師会賞・北海道知事賞受賞者

医師会名	職氏名	研究(業績)題名
札幌市	NTT東日本札幌病院 外科診療部・泌尿器科部 部長 伊藤直樹	男性精巣機能障害に関する診断・治療の包括的研究～特に男性不妊症を中心として～
北海道大学	北海道大学 大学院医学研究院消化器外科学教室Ⅱ 教授 平野聡	膵臓・胆道癌に対する新たな治療戦略の探求
	北海道大学病院 乳腺外科 教授 山田啓子	ホルモン受容体陽性乳癌の発生・進展メカニズムの解明に関する研究
札幌医科大学	札幌医科大学 医学部附属フロンティア医学研究所 組織再生学部門 教授 三高俊広	肝臓の幹・前駆細胞の研究
	札幌医科大学 医学部 放射線医学講座 教授 坂田耕一	個別化放射線治療実現のための臨床因子・生物学的因子の解明
旭川医科大学	旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野 特任教授 長内忍	低酸素受容機構と生体応答に関する呼吸生理学・呼吸器病学研究
	旭川医科大学 外科学講座 心臓大血管外科学分野 教授 かみ紙 や谷 寛之	胸部大動脈外科における循環停止法の安全性向上に関する研究

胸部大動脈外科における循環停止法の安全性向上に関する研究



旭川医科大学 外科学講座 心臓大血管外科学分野

教授 かみ紙 や谷 ひろ寛 ゆき之

紙谷寛之教授は、平成9年に北海道大学医学部を卒業後、金沢大学第一外科に入局し、心臓血管外科の修練を開始された。平成14年に心拍動下冠動脈バイパス術に関する研究で学位を取得後、平成15年からハノーバー医科大学に留学された。その後、平成18年にハイデルベルグ大学に助教として異動、平成21年には同大学で教授資格(Habilitation)を取得し、同年イェーナ大学に准教授として赴任、さらに同年上司の異動に伴いデュッセルドルフ大学に准教授として赴任し、平成24年に旭川医科大学に異動され現在まで勤務されている。

心臓外科医として心移植23例など高難度手術も含

め、今までに約3,000例の開心術執刀を行う傍ら、約1,000例の手術指導も行い後進の育成にも積極的に取り組まれている。また、研究者としても顕著な業績を有し、現在までに120編を超える英文論文を発表されている。

特に、胸部大動脈外科における循環停止法の安全性向上に関する研究については継続的に取り組まれており、ドイツ時代の低体温循環停止法の至適冷却温度に関する研究、急性大動脈解離の手術の際の上行大動脈送血法については多数の権威のある雑誌に掲載された。また、帰国後はレーザースペックル眼底血流計を用いた循環停止法の際の脳微小循環の評価、神経組織特異的エノラーゼによる循環停止法の際の脳障害の定量評価、不断な脳灌流を可能にする大動脈弓部置換術の新術式、弓部置換術における術者の経験が予後に及ぼす影響など、多数の英文論文を発表されている。

紙谷教授のもとには数多くの若者が集結しつつある。今後はグループとしての道内心臓外科医療の充実、そして研究における世界への発信が大いに期待されている。

お知らせ

第100回北海道医学大会総会について

◇学術部◇

第100回大会総会のご案内をいたします。今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、WEB開催いたします。

第100回北海道医学大会会頭 長瀬 清

記

1. 日程 令和2年10月3日(土)
2. プログラム
 - (1)令和2年度北海道医師会賞ならびに北海道知事賞贈呈式(15時～16時・北海道医師会館)
 - (2)特別講演(事前収録しHP公開予定)
「ポストコロナ時代における人工知能の可能性」
講師：松尾 豊(東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 教授)
 - (3)基調講演(事前収録しHP公開予定)
「北海道の医療—北海道医学大会とともに」
講師：長瀬 清(第100回北海道医学大会会頭/北海道医師会会長)
 - (4)講演の視聴方法
第100回北海道医学大会ホームページからご覧いただけます。下記URLをご参照ください。
3. 分科会開催日程・プログラム抄録閲覧
第100回北海道医学大会ホームページからご覧いただけます。
下記URLから、ID(taikai)パスワード(3024)を入力してください。
<http://www.hokkaido.med.or.jp/igaku/index.html>